

特

集

留学という経験 そこから得られるもの

アンケートを
参考に
取り上げました
留学アンケートの回答は巻末から



専修大学には、どのような留学プログラムがあり、どんな準備が必要なのか。今回の特集では、専修大学の国際交流センターが主催する留学プログラムをご紹介します。

約3週間の短期留学から、1年間の長期交換留学、さらには専修大学の国際交流の拠点となる国際交流会館で留学生と協働生活を送る寮内留学プログラムまで44コース。語学力の向上だけでなく、様々な社会課題の解決や自己実現に向けた力を育む内容が盛り沢山です。留学プログラムに参加した学生の声と共にその魅力をお伝えします。



GLOBAL NETWORK

世界に広がる国際交流協定校

アジア・オセアニア・北米・ヨーロッパを中心に19カ国・地域35大学・組織と国際交流協定を結んでおり(2023年6月現在)、様々な形で学生・教員の相互交流・研究を行っています。

【アジア】 中国、台湾、韓国、モンゴル、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、インドネシア

【オセアニア】 ニュージーランド、オーストラリア

【北米・中米】 アメリカ、カナダ、メキシコ

【ヨーロッパ】 イギリス、アイルランド、フランス、スペイン、ドイツ



専大独自の7つの
留学サポートシステムあり!

詳細はこちら

協定校の
詳細はこちら



専修大学の留学プログラム

	長期交換留学	Semester 交換留学	中期留学	夏期留学	春期留学	東南アジア・ スタディツアー	寮内留学/ SIUインターナショナル
期間	8~12か月	4か月	4~5か月	3~5週間	3~5週間	3週間	4~6か月
学習 内容	正規授業の履修		語学研修 インターンシップ等	語学研修 インターンシップ プロジェクトワーク	語学研修 異文化体験	タイの歴史・文化 異文化理解	異文化理解・ 国際コミュニケーション力 留学生との協働生活・学習
滞在	学生寮 (一部ホームステイ)		ホームステイ または学生寮	ホームステイまたは学生寮		ホテル (予定)	専修大学国際交流会館

長期交換留学プログラム 8～12か月

セメスター交換留学プログラム 4か月

協定校で現地学生とともに正規授業を履修し、専門分野の知識を深める

POINT

- 多様な価値観を養い、国際的な対話力を身に付ける
- 単位認定あり（上限 60 単位。学部・学科により異なる）
- 大学独自の留学奨学金制度あり
- 留学先大学への学費の支払いが免除
- セメスター交換留学プログラムは1学期間の留学で、経済的な負担を軽減



↑左端が佐野さん

留学は自分を見つめ直す最高の機会

商学部マーケティング学科4年 佐野朋希さん（4年次にニュージーランドのワイカト大学に留学）

大学生のうちにはしかできない経験をしたいと思い留学をしました。交換留学を終えて感じるのは、留学は自分自身を見つめ直す最高の機会だったということです。多種多様な人との関わりの中で、多様な価値観や視点に触れ、新しい自分に出会うことができました。そして、自分の性格、価値観も再認識しました。

留学で特に印象に残るのは、マーケティングのグループ課題を完成させたときのことです。大学では英語を自在に話せる人がほとんどですが、私は留学当初、英語を全く理解できないこともありましたが、しかし、

めげずに質問をしたり、自分の書いた文章を確認してもらって改善を繰り返しました。

その結果、マーケティングのグループ課題では100点中85点を取得することができました。グループ課題とともに取り組んだチームメイトと、お互いを讃え合って交わした握手は忘れません。

留学で得た「厳しい環境でもがく能力」を活かして、グローバルに活躍する人材になりたいです。そのために、これからも努力していきます。



中期留学プログラム 4～5か月

インターナショナルクラスで語学力アップ

POINT

- 1学期間の語学留学（前期または後期）で実践的な語学力を身に付ける
- アカデミック・スキルや異文化理解を学ぶ
- 単位認定あり（上限 16～18 単位。学部・学科により異なる）
- 大学独自の留学奨学金制度あり
- 語学研修後に現地企業にてインターンシップ（後期ワイカト大学）



コミュニティを広げ積極的な会話で英語力が向上

経済学部国際経済学科2年 水野 涼さん（2年次にアメリカのオレゴン大学に留学）

留学先の AEI (American English Institute) のスピーキングの授業では、即興で自分の考えを1分間で発表するアクティビティがありました。その時、私は自分の考えを順序立てて上手に伝えることができませんでした。この経験から、英語力のみならず、様々な分野について日頃から考えることが大切だと気づきました。

また、留学中は語彙力のなさを痛感したため、英語能力を最大限に高めようと、現地学生や地域住民と関わる機会を積極的に作りました。例えば、会話能力向上のため、現地学生と一対一で授業外に会話するこ

とを習慣化しました。会話での文法の間違いは、その場で訂正してもらおうようにしました。こうした活動を通してネイティブとの会話に徐々に慣れることができました。主体的に行動したことが英語力向上につながったと思います。



夏期留学プログラム 3～5週間

春期留学プログラム 3～5週間

特色あるプログラムで語学力と国際感覚を磨く

POINT

- 夏期・春期休暇期間中に実施
- 語学研修の他、フィールドトリップ、プロジェクトワーク、海外インターンシップ、小旅行を通じ多角的に学ぶ
- 単位認定あり
- 大学独自の留学奨学金制度あり

様々な価値観に触れ、視野を広げるきっかけに

経営学部ビジネスデザイン学科2年 岩崎百花さん (1年次に韓国の慶熙大学に留学)

留学先での授業は基本的に韓国語で実施されますが、簡単な単語を使って丁寧に説明してくれたため楽しく授業を受けることができました。3週間の留学を通して語学力がかなり身に付き、良い経験となりました。文化授業では韓国ドラマやK-Pop、伝統的な遊び等について学び、韓国文化の知識を得ることができました。

また、日本と海外の常識やマナー、価値観の違いについて知ることができました。日本で当たり前だと思っていたことが通用しない異国では、その場面ごと

で対応する力が必要なことを実感しました。これまで海外に行ったことがなかった私にとっては、視野を広げるきっかけとなりました。



ここが聞きたい！ 留学に関する Q&A

Q 留学して、4年間で卒業できますか？

A 計画的な留学で4年間で卒業することも可能ですが、中期留学・交換留学ともに、所属の学部学科によっては、カリキュラムの関係上、留学する年次や単位修得状況により4年間で卒業できない場合があります。応募の直前ではなく、留学を検討した時点で、所属学部の教務課窓口で進級及び卒業の取扱いを確認してください。

Q 就職活動への影響が気になります。

A 中期留学プログラム（後期）または Semester 交換留学プログラムに参加すると12月下旬の帰国、長期交換留学プログラム（第2期）に参加すると3月下旬から5月下旬の帰国になります。近年、就職活動のスケジュールはめまぐるしく変化していますので、早めの計画と準備が肝要です。

留学出発前に将来の目標を明確化し、キャリア形成支援課等で相談されることをお勧めします。留学中もインターネットなどで情報を入力し、企業とやり取りを進めることも可能です。実りある留学は就職活動で大きなアピール材料となります。留学で何を心得、社会や企業にどう活かすかを考えてみてください。

Q 費用が気になります。奨学金制度はありますか？

A 専修大学には国際交流センター主催の留学プログラムに対し、経済的負担を軽減できる各種奨学金・補助金制度（専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度）があります。詳しくは右のQRコードからご確認ください。



Q 留学を希望していますが、どのような準備をすればよいのでしょうか？

A 国際交流センターでは、留学を志す学生に向けて「Language Skills Program（留学支援講座）」を用意しています。英語圏への交換留学等の応募に必要な TOEFL ITP® テストの対策講座や英語スキルアップ、また日本文化を英語で紹介できるようになるための英語力養成講座など、多様な講座を展開しているので、レベルや目的に合わせて受講してください。

また留学参加者全員に対して、ネイティブスピーカーの講師による語学やアカデミックスキルズを学修する事前研修や海外での危機管理を学ぶ「海外安全セミナー」を実施しています。これらの事前事後研修やオリエンテーション等を活用して準備をしっかり行い、充実した留学を実現してください。

東南アジア・スタディツアー 3週間

「オンライン+海外渡航」の新しい留学スタイル

POINT

- タイ商工会議所大学によるタイ語、タイの文化・歴史、SDGs等に関するレクチャー（英語による）
- タイの伝統文化体験、タイの施設見学あり
- 現地学生との交流でコミュニケーション能力を養成



たくさん話し合い現地学生と相互理解

文学部英語英米文学科3年 中村芽依さん（3年次に参加）

私はこの東南アジア・スタディツアーに参加して、英語でタイ語を学び、フィールドトリップで様々な場所を訪れるなかで、心躍らせる経験と新たな気付きや学びを得ました。

タイ語の授業では、文字・発音・文法の勉強以外に、会話練習やタイ語の歌を学びました。非常に濃い内容でしたが、授業はわかりやすく、途中で挫折することなく学ぶことができました。

フィールドトリップでは様々な場所に行きましたが、

中でもアユタヤが印象的でした。16世紀頃からの日本とタイの関係を学ぶことができ、タイの歴史に触れることができました。

現地の学生はとても親切で明るく、私の拙い英語を理解してくれようとしたことで積極的に話せるようになりました。この研修を通して得た様々な経験と学びを今後活かしていきたいと思います。

寮内留学プログラム/SiUインターナショナルプログラム 4~6か月

日本にいながら留学体験。グローバル人材を目指す

POINT

- 専修大学国際交流会館にレジデント・パートナーとして入寮
- 留学生との協働生活で異文化体験
- 大学独自の奨学金制度あり
- 後期は、SiUインターナショナルプログラムに参加。留学生と共に英語で日本のビジネス・文化を学ぶ

来日する留学生の主な出身国

カナダ、アメリカ、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、アイルランド、ポーランド、ベトナム、中国、韓国、ラオス、カンボジア、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、タイ、ハンガリー、ウクライナ他

「勇気を持つこと」の大切さを学んだ

商学部マーケティング学科3年 木我大志郎さん（3年次に参加）

海外に興味があっても、英語ができないからと諦めている人は多いのではないのでしょうか？ 私もその一人でした。そんな人にとって国際交流会館での寮内留学は最初の一步として最適だと思います。なぜならば、留学生に日本語が通じるからです。

寮内留学では、留学生と2人で1つの部屋をルームシェアします。そして、一緒に料理を作ったり、スポーツをしたり、映画を楽しんだり、休日には旅行に行ったりしながら、異なる文化や言語を留学生から学



ぶことができるのです。

私は2023年度、寮内留学に参加し、たくさん遊び、学び、話し、多くの留学生と友達になりました。寮内留学では「勇気を持つこと」の大切さを実感しました。恐れず留学生に話しかけることで、問題解決や関係の発展につながります。



国際交流センター
公式 YouTube
チャンネル



国際交流センター
公式 Instagram
@senshuworld



国際交流センターの
webサイトはこちら！
www.senshu-u.ac.jp/global/

専修 国際交流

検索

